

申立ての内容	申立てへの対応
<p>【評価項目】 2 項目別評価 (1) 業務運営の改善及び効率化に関する目標</p> <p>【原文】 「(改善すべき点) ○大学院博士前期課程における学生定員の未充足 第1期中期目標期間評価において評価委員会が課題として指摘した、大学院博士前期課程について、学生収容定員の充足率が平成24・26・27年度において90%を満たさなかったことから、学長のリーダーシップの下、定員の充足に向けた取組に努めることが求められる。<u>(なお、平成28年度は90%を満たしている。)</u>」</p> <p>【申立内容】 【修正文案】の通り変更願いたい。</p> <p>【修正文案】 「(改善すべき点) ○大学院博士前期課程における学生定員の未充足 第1期中期目標期間評価において評価委員会が課題として指摘した、大学院博士前期課程について、学生収容定員の充足率が平成24・26・27年度において90%を満たさなかったことから、学長のリーダーシップの下、定員の充足に向けた取組に努めることが求められる。<u>(なお、平成26年度から、学長の強力なリーダーシップの下、全学を挙げて「優秀な学生の獲得」に取り組んだ結果、平成28年度以降は、定員は充足している。)</u>」</p>	<p>【対応】 原案のとおりとする。</p> <p>【理由】 改善すべき点がある法人に対しては、同様の表現で公平に指摘することとしているほか、改善に向けた取組が実施されていることを具体的に確認した上で原案の文案としているため。</p>

【理由】

第2期中期目標期間中にすでに定員の充足に向けた取組を実施し、その結果充足率も改善していることを明確に示すため、修正文案のとおり変更願いたい。